

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 6年生教室
- 3 学 年 第6学年 男子2名 女子5名
自閉症・情緒障害特別支援学級 第6学年 男子1名 女子1名 計9名
- 4 単元名 「私たちの過去・現在・未来(2学期)」
- 5 単元について

○児童観

4月当初、児童に自分の理想の未来とは何かと問いかけたところ、「将来パン屋になりたい」「住むところは神石高原町でいい」「自分に甘い性格を直したい」等の職業や住む場所、性格に関する意見が出てきた。その後、理想に近づくためにどうすればよいのかを考えると、現在の自分の長所や短所を振り返りたいという意見が出たため、自分の考えをまとめたり、自分のことについて保護者にアンケートを行ったりして、情報を収集し、整理・分析を行った。

次に、職業に焦点を当て、将来目指している職業に就いている方を迎え、ゲストティーチャーとして10人の方から、話を聞いた。10人の方の話を比較する中で、「目指している職業に就けない可能性もあるため、なれなかったときのことも考えると、学校の勉強に力を入れておく必要がある。そして、好きなことを職業にしている人は多いので、好きだと思えるものを極めることも大切。また、どの職業も人と関わる人が多いので、コミュニケーション力が大切である。」といったまとめを行った。

ゲストティーチャーの1人から「この町を未来に引き継ぐためにあなたたちに今できることは何か。」と問いかけられたことから、2学期は自分の好きなことや得意なことを生かして、自分たちが地域のためにできることを、実行したいと考えている。

学級の児童の実態としては、以下の通りである。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		4月			
		9月			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	3	6	0	0
		9	0	0	0
2	地域の方のために自分にできることを考えています。	1	7	1	0
		5	3	1	0
3	友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	1	6	1	0
		4	4	1	0
4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	2	7	0	0
		3	6	0	0
5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	1	7	1	0
		6	3	0	0
6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	4	4	1	0
		7	2	0	0

7	たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。	5	3	1	0
		7	2	0	0
8	集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。	3	5	1	0
		5	4	0	0
9	調べて分かったことを、分かりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。	1	7	1	0
		3	4	2	0
10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	1	7	1	0
		3	6	0	0
11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	4	4	1	0
		6	3	0	0
12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	4	4	1	0
		4	4	1	0
13	自分の考えを進んで伝えています。	3	5	1	0
		4	4	1	0
14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。	3	5	1	0
		6	2	1	0
15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	4	5	0	0
		3	6	0	0
16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	3	6	0	0
		4	5	0	0
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	6	3	0	0
		5	4	0	0
課題発見力	地域の中から、問題を見つけられています。	3	6	0	0
		6	2	1	0
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしています。	4	4	1	0
		4	4	1	0
振り返り力	学習計画に照らし合わせて振り返っています。	3	5	1	0
		5	4	0	0

アンケートの結果から、肯定的な評価をする児童が増えている。しかし、9「調べて分かったことを、分かりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。」の項目については、「よくあてはまる」と答えた児童が、1人→3人と増えている一方で、「ややあてはまる」と答えた児童が1人→2人と増えている。これは、まだ分かったことをまとめる活動をしていないからだと考えられる。

12「発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」と課題解決力「自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしています。」の項目については、1学期初めと変わらない。授業の様子をみても、自分の意見に自信がなく、声が小さくなったり、早口になったりする児童が見られ、相手の考えが分からないことがあると考えられる。

☆「自分の住んでいる地域のことが好きです。」の項目については、「よくあてはまる」と答えた児童が6人→5人と減っている。1「身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。」の項目については、肯定的な評価をした児童が1学期より大幅に増えている。これは、総合的な学習の時間で児童の意見から課題を見つけ、いったことが効果的だったと考えられる。

○単元観（2学期）

本校の地域には、パン職人、マンガ家、シニア海外協力隊に行った方等があり、児童の将来により影響を与えてくれるような人材の宝庫である。

本単元では「私たちの過去・現在・未来」として、自分の理想の未来に向けて、過去を振り返り、現在の自分は何をしていくべきなのかという自己の生き方を考える学習を行う。また、神石高原町の一員として、この町を未来に引き継ぐために私たちに今できることは何かを考え、実行していく。

まず、自分たちの理想の未来を想像することで、児童が主体となって学習活動を進めていくことができるようにする（課題発見力）。

1学期には、現在の自分を振り返り、自分のことを客観的に知るために友達と保護者にアンケート調査を行ったことで、多面的に自分を見ることができた。そして、自分の将来なりたい職業に就いている方の話を聞く等、将来に向けて今努力しておくべきことの情報収集、整理・分析の機会を仕組み、自分の考えをまとめさせた。以上のことが、アンケート項目1・5・6の肯定的な評価をした児童の増加につながった。

2学期には、「もっと自分に自信をもってほしい」という担任の思いを伝え、2学期のキーワードとして学級に周知した。そして、自分の得意なことや好きなことを生かして、神石高原町のために自分に今できることは何かを個人で考え、実行する。自分にできることと地域が求めていることの矛盾や理想との隔たりを認識しつつ、企画・実行し、「地域の方の役に立った」という思いになることで自分に自信をもてたり、自分のいいところを新たに発見したりする機会にもなる。また、必要な情報を身近な人から集め、それぞれで考えた企画を検討することは、日常的な協働的な学習の場や、他者とコミュニケーションを取
る際に生きる（課題解決力）。さらにこの活動を通して、アンケート項目9の分かりやすい方法を使ってまとめたり、12の分かりやすく伝える工夫をしたりすることで思考力、表現力を培うことができる。

3学期には、これまでの学習を自分史としてまとめ、自己の生き方についての表現活動を設ける（振り返り力）。この活動では言語活動やICTを活用した活動を多く仕組むことが可能である。

また、学校経営構想のキーワードが「チャレンジ」であり、学校として求める児童の姿に近付けることができ、今年度から変わる高校入試制度の変更にも対応できる力を付けられる可能性もある。

このように、地域の方から学び、自己を振り返り、できることや未来を考えるという活動から、改めて神石高原町のよさに気付かせることができ、探究的な学習のプロセスを組み込むことも可能であるため、課題解決学習のテーマに適していると考えます。

○指導観

本単元では、児童の「自分たちの未来をよりよいものにしたい」という思いをもとに学習計画を立てた。また、この単元ではキャリア教育を探究課題にしており、教科横断的に学習計画を作っている。

指導にあたっては、1学期に、どんな未来が理想なのかを考えさせ、保護者にもアンケートを行い、多面的に今の自分を振り返らせた。職業に焦点を当て、将来目指している職業に就いている方を迎え、ゲストティーチャーとして話を聞き、その話を総合的に分析させてまとめた。理想の職業については、国語科と関連付け、職業をテーマにしたブックトークを行わせた。

2学期には、「みんなは自分に自信がない。自分の好きなことや得意なことが地域に生かせることを知って、自分に自信がもてるようになってほしい。」と担任の思いを伝え、その上でこの町のために自分にできることを個人で考え、実行させたい。

ここでは、地域が求めていることと、自分たちにできることの2つの視点をもたせ、活動させる。地域が求めていることや、考えたことを実現させる手段を知るために、「自分は音読が得意だから、働く人が足りていない保育所で音読をして、児童を喜ばせたい。」等、情報を収集する活動を仕組む。A児、G児、F児、I児には、解決の道筋がすぐに明らかにならなくても粘り強く対処し、解決しようと

する力を付けたい。話し合いの場面では、カジュアルな言葉で話すことを心がけさせ、自分の考えに自信がもてないB児、C児、H児でも、意見を活発に言えるようにする。全体で発表させる前には、考えを書かせる時間を取ったり、事前の交流で友達のリクエストのよさを見つけさせたりする。以上の手立てにより、自分の得意なことや好きなことが地域のために生かされたという思いを醸成し、自分自身に自信がもてるようになってほしい。特にG児に自信を付けることを通して、心の状態の安定につなげたい。そして、自分たちの考えたことややってきたことについて、地域の方から感想をもらうことで、周りの人のために働く喜びを味わえるようにしたい。

3学期には、これまでの取組をパワーポイントにまとめ、保護者やお世話になった人を招いて、感謝の会を開き、お礼の気持ちを伝える。この活動を通し、アンケート項目9・12・課題解決力で課題となっていた、分かりやすくまとめて伝える力を更に伸ばしていく。最終的には、自己の生き方を自分史として記録に残す。記録に残す際には、地域のためにできることを実践したことから、自分の過去の姿を改めて見直し、この学習をして伸ばせた長所や変えることができた短所を入れさせる。

課題発見力	自分の未来を想像させ、身近な「ひと」を学習対象にする。
課題解決力	自分たちのしたいことを計画し、協働的に検討しながら実行させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りをさせたり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

6 単元の目標

身近な「ひと」に関わったり、自分や地域のよりよい未来に向けた取組を行ったりすることを通して、これから努力していくべきことや、自分の得意なことが地域のために生かせることを理解し、この町を未来に引き継ぐために私たちに今できることについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	課題設定し、解決する方法を考えている。
課題解決力	よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。
振り返り力	学んだことを自己の生き方につなげて振り返っている。

8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校で付けた い賞賞・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	① 理想の未来に向けてこれから努力していくべきことや、自分の得意なことから地域のために生かせることがあることを理解している。 ② 将来目指している職業や地域のために行いたいことについて視点を持ち、適切な方法で調査を実施している。 ③ 自分の得意なことや好きなことを生かして地域のために活動したことが、自分自身の成長にもつながっていることは、自分たちが探究的に学習していることの成果であることに気付いている。	④ 自分たちがよりよい未来に向けてしたいことを考えている。(課題発見力) ⑤ 地域のために自分たちができることについて、必要な情報を集めている。 ⑥ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら自分の得意なことがどう地域に生かせるかを考えている。 ⑦ 自分の得意なことや好きなことを生かして、私に今できることについてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)	⑧ よりよい未来に向けて、現在の自分や地域を見直したり、他者の生き方を認めたりしながら、自らの意思で課題を解決しようとしている。 ⑨ 自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを自他の考えを大切にしながら友達と協働して取り組もうとしている。 ⑩ よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返ろうとしている。(振り返り力)

9 単元におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等⑦）

A	B	C
地域のために実行したことや自分の将来に向けて努力することを、友達の考えを取り入れながら、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめようとしている。	地域のために実行したことや自分の将来に向けて努力することについて、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめようとしている。	地域のために実行したことや自分の将来に向けて努力することについて、よりよい考えを検討したり、自分の言葉でまとめたりすることができない。

10 主な学習活動と評価規準（全70時間）

主な学習活動		評価規準
一学期	年間【課題設定】 ○単元の課題設定をする。 ・理想の未来を考える。 ・理想の未来に向けて、今何をすべきなのかを考える。 年間テーマ よりよい未来にするためには、どうすればよいのだろうか。	④自分たちがよりよい未来に向けてしたいことを考えている。(課題発見力)
	1学期【課題設定1】 どうすれば理想の未来に近づけるのだろうか。 【情報収集1】 ○現在の自分を知る。 ・性格・長所・短所・好きなこと・嫌いなこと	

	<ul style="list-style-type: none"> ・得意なこと・頑張っていること等 ○現在の自分について情報を収集する。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達や家族に聞いてみる。 ○どうすれば理想の未来が実現するのか調べる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・親にアンケートをする。 ・理想の職業に就いている人に話を聞く。 ○情報収集をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・生い立ち・失敗談・どうしてその職業を選んだのか等 【整理分析1】 ○収集した情報を整理・分析する。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理してまとめる。 ・ゲストティーチャーの話比べ、共通していることを選択する。 【まとめ・表現1】 ○ゲストティーチャーの話をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話から分かったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ②将来目指している職業や地域のために行いたいことについて視点を持ち、適切な方法で調査を実施している。 ⑤地域のために自分たちができることについて、必要な情報を集めている。 ①理想の未来に向けて、これから努力していくべきことや、自分の得意なことから地域のために生かせることがあることを理解している。
<p>二 学 期</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2学期【課題設定1】 【課題の設定2】 ○「自分の好きなことや得意なことが地域に生かせることを知って、自分に自信がもてるようになってほしい。」という担任の思いを知り、1学期の活動からこれから取り組みたいことを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことや好きなことで地域の方が困っていることを助けたい。 ・自分の得意なことや好きなことが地域の方の役に立つのか試したい。 【情報収集2】 ○実現に必要な情報を集める。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域をよく知る人にアドバイスをもらう。 ○地域のためにできることを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域が求めていることと自分たちができることの2つの視点で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧よりよい未来に向けて、現在の自分や地域を見直したり、他者の生き方を認めたりしながら、自らの意思で課題を解決しようとしている。 ⑤地域のために自分たちができることについて、必要な情報を集めている。 ⑥課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら自分の得意なことがどう地域に生かせるかを考えている。 ⑨自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを自他の考えを大切にしながら友達と協働して取り組もうとしている。

	<p>【整理・分析2】 ○地域が求めていることと自分たちができることの2つの視点で、これまで収集してきた情報を整理・分析し、活動の改善をする。</p> <p>【まとめ・表現2】 ○準備をする。 例 アポイントメントをとる 準備物を考える 実行の仕方</p> <p>【実行】 ○計画を実行に移す。</p> <p>【課題の設定3】 ○2学期の活動を振り返る。(本時) 自分の得意なことや好きなことが地域に生かされたかな 地域の人が喜んでくれたのがうれしかった。人のために「働く」っていいな。 ○次の課題を発見する。 ・次にできることは何だろう。</p> <p>【課題の設定4】 ○2学期を振り返る。</p>	<p>⑦自分の得意なことや好きなことを生かして、私に今できることについてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)</p> <p>⑩よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返ろうとしている。(振り返り力)</p>
<p>三 学 期</p>	<p>3学期</p> <p>【まとめ・表現3】 ○活動を通して、自分の将来についてわかったことや地域のために自分の得意なことが生かした経験を振り返る。 ・ポートフォリオしていたものをまとめ、自分史としてパワーポイントにまとめる。 ・付いた力や成長したこと、生活に生かしたいこと等の視点に沿って振り返りをする。</p> <p>【実行】 ○取り組んだプロジェクトを保護者に伝える。 ○お世話になった方に感謝の気持ちを伝える。</p>	<p>③自分の得意なことや好きなことを生かして地域のために活動したことが、自分自身の成長にもつながっていることは、自分たちが探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p> <p>⑩よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返ろうとしている。(振り返り力)</p>

11 本時の学習

(1) 本時の目標

プロジェクトを終えて、反省点や学んだことを自己の生き方とつなげて振り返ることができる。

(2) 本時の評価規準

よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返っている。

(3) 準備物

〔児童〕 短冊

「理想の未来ウェビングマップ」「これからの未来で大切だと思ったこと3本柱」「現在の自分リスト」の白黒コピー 等

(4) 学習の展開 (45/70 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 学習計画を振り返る。</p> <p>2 めあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの活動を振り返り、今日の活動の見通しをもたせるとともに、ゴールを確認させる。 ・資質・能力のカード及びループリックを提示し、自分のゴールを意識させる。 ・今日のめあてを児童に考えさせる。 	
<p>プロジェクトを終えて反省したことや学んだことから、自分の生き方について考え直そう。</p>		
<p>3 今日の学習の流れを確認する。</p> <p>4 自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省点は、子供の前では緊張して、早口で本を読んでしまったこと。 ・お年寄りとお話するときに声が小さくなってしまって伝わらなかった。 ・言われたことは素直にできたことがよかったと実施後のアンケートに書いてあるから、素直なところがよいところだと気付けた。 ・地域の人が喜んでくれたのが嬉しかった。人のために働くっていいな。 ・もっといろんな場所の草を取って地域の人に喜んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と本時の流れを確認し、活動の意欲を高める。 ・反省点、学んだことの2つでまとめ、書かせる。 ・自分の「よいところ」や「直したほうがよいところ」を書いている児童を紹介する。 	

<p>5 グループに分かれて交流し、全体に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を発表し、友達の見解からいいと思ったことや、同じだと思ったことは自分の短冊に書いてもいいことを伝える。 ・短冊を前の表に貼らせる。 	<p>○よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返っている。(発言・行動・ワークシート等)</p>
<p>6 反省点や学んだことから、自分の生き方にどう取り入れられるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話の時にははっきりと話せなかったから、これからははっきり話す練習をしたい。 ・3本柱で身近な人が大切だと思っていたけれど、地域の人みんなが大切だと気付いた。 ・子供と関わるのが楽しかったから、将来の夢で子供と関わることを入れてもいいな。 ・計画を立てるのが苦手だったから、この仕事は向いてないのかもしれないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初にした「理想の未来ウェビングマップ」や「これからの未来で大切だと思ったこと3本柱」, 「現在の自分リスト」を白黒コピーしておき、新たな考えを赤で書き込ませる。 	
<p>7 グループで、いいなと思ったことや質問、アドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が得意なことは本当にその職業で生かせるの？ ・畑仕事が得意ということは、青年海外協力隊で、農業を外国の人に教えたらいいんじゃない？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えが思いつかなかった児童には、考えを出し合う中で考えを出せるようにする。 ・学んだことや反省点が自分のいいところや直したほうがいいところに入っているか、確認して質問やアドバイスをする。 ・友達の考えを取り入れながら学習を進められている児童を評価する。 	
<p>8 短冊を黒板に貼り、考えが初めと変わった人を発表させる。</p>		
<p>9 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返る。自己評価をする。 ・次時からの見通しを立てておく。 	

12 板書計画

11/11 私たちの過去・現在・未来

地域と自分大好きプロジェクト

■プロジェクトを終えて反省したことや学んだことから、自分の生き方について考え直そう。

探究の流れを示したカード

本校の付けた
い資質・能力
を示したカード

A	B	C
よりよい未来の実現のために学んだことや友達の考えから、自己の生き方とつなげて振り返っている。	よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返っている。	よりよい未来の実現のために学んだことを自己の生き方とつなげて振り返ることができない。

⑧

名前	反省	学んだこと	自己の生き方
A児			
B児			
C児			
D児			
E児			
F児			
G児			
H児			
I児			